

- 認定第 1 号 平成 3 0 年度守口市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 2 号 平成 3 0 年度守口市特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算の認定について
- 認定第 3 号 平成 3 0 年度守口市特別会計後期高齢者医療事業歳入歳出決算の認定について
- 認定第 4 号 平成 3 0 年度守口市特別会計公共用地先行取得事業歳入歳出決算の認定について
- 認定第 5 号 平成 3 0 年度守口市水道事業会計決算の認定について
- 認定第 6 号 平成 3 0 年度守口市下水道事業会計決算の認定について

□□□審議経過□□□

＝決算特別委員会委員長報告＝

御指名により、決算特別委員会を代表いたしまして、本委員会に付託されました平成 3 0 年度における各会計決算 6 件に関する審査の経過及び結果につきまして御報告申し上げます。

さて、本委員会は、去る 9 月 1 2 日に本件の付託を受けて以来、1 0 月 2 9 日まで計 6 回にわたり審査を行った次第であります。その結果、各会計決算 6 件については、いずれも満場一致をもって、次に申し述べます各種希望意見を付し、それぞれ認定すべきものと決した次第であります。

以下、主として審査の途上、特に問題点として指摘し強調いたしました事項などの希望意見のみをここに集約し、順次申し述べてまいりたいと存じます。

なお、この際、後期高齢者医療事業会計、公共用地先行取得事業会計、水道事業会計並びに下水道事業会計については、特段の意見がなかったことを申し上げます。

第 1 点

少子高齢化が進む社会情勢などにより、今後、市税の大幅な増収は考えにくく、社会保障費などの経費が増嵩していくことが予想されることから、これまでも指摘しているとおおり、事業に応じて国の補助金等を有効に活用していくとともに、例えば、未利用地の活用方法に検討を加えるなど、自主財源の確保を図りつつ、持続可能な財政基盤の構築を図られたいこと。

また、税などの不納欠損については、様々な事情はあろうが、公平性の観点から、処分に至るまでに毅然とした態度でもって収納努力を重ねるとともに、適切な債権管理に当たられたいこと。

第 2 点

市のホームページについては、スマートフォンによる閲覧が普及していることなども鑑み、利用者からの意見の把握、分析に努めるとともに、他市を参考にするなど、より見やすく、わかりやすい構成に向け、引き続き研究し、改善に努められたいこと。

また、公共施設予約システムについては、施設利用に際して利便性向上が図られているところであり、例えば、施設ごとではなく、会議室など目的に応じた検索機能の充実など、利用者目線に立って、より使いやすいものとなるよう研究されたいこと。

第 3 点

地域コミュニティ協議会に対しては、各協議会の自主的・主体的な地域活動を支援するため、一定の金額を上限に補助を行っているところである。設立からこの間、小学校区の再編が生じていることなどを鑑み、地域における課題や実情をくみ取りながら、今後もコミュニティ活動が継続、発展していけるよう、補助のあり方について研究・検討を続けていかれたいこと。

第 4 点

小・中学校の通学路などを中心に市内全域に設置されている防犯カメラについては、設置前と比較し、市内における刑法犯認知件数が減少していることから、犯罪の抑止力に一定の効果が発揮されていると思われる。今後、その効果を広く PR するなど、防犯カメラの設置をはじめとした市の取り組みへの理解と協力が得られるよう努めるとともに、地域住民あるいは警察など関係機関とも連携を図りながら、市民の防犯意識の向上、ひいては安心・安全なまちづくりに向け鋭意取り組まれたいこと。

第 5 点

安否確認ホットラインについては、市民や協定事業者からの情報提供にもとづき高齢者の状況を

確認し、異変の早期発見や支援の必要な高齢者の把握に寄与しているところである。高齢者の孤立を防ぐには、日ごろからの地域との繋がりや介護予防の観点が重要であると考えられることから、地域をはじめ、くすのき広域連合など関係機関とも連携し、高齢者の交流の促進と健康の保持増進などに取り組み、高齢者が地域の中で安心して生活できる環境づくりに努められたいこと。

第6点

生活保護については、常々指摘しているところであるが、被保護者に対する適切な生活実態の調査、把握や、自立支援への指導が重要である。現在、ケースワーカーについては、国の配置基準より少ない体制で業務を行っている状況にあるが、人員体制にも配慮しつつ、個々のケースに応じたよりきめ細やかな支援が行えるよう意を配されたいこと。

また、被保護者の中には、種々の事情により定期的な訪問調査が行き届いていない事例もあるとのことであるので、様々困難な点はあるが、指導に努めるとともに、場合によっては保護の停廃止などの措置も含め適切に対処されたいこと。加えて、生活保護適正化ダイヤルの一層の周知を図るなど、不正受給への対応も含め、適正な生活保護制度の実施に努められたいこと。

なお、業務における個人情報の取り扱いが厳正に行われたいこと。

第7点

各種がん検診については、広報誌での周知や対象者への個別通知の送付など受診勧奨に取り組んでいるところであるが、検診種別によっては受診率があまり高くない状況にある。引き続き、様々な機会をとらえ、検診が早期発見・早期治療に繋がっていることを積極的にPRするなど、受診率向上に努められたいこと。また、麻疹・風疹等の各種ワクチン接種についても、その重要性について周知・啓発を行い、疾病の未然防止を図られたいこと。

さらに、国民健康保険事業など関係部局が連携を密にし、今後とも特定検診の受診率向上や、高齢者の健康保持増進活動など、市民の健康寿命の延伸に向け取り組まれたいこと。

第8点

現在、市役所本庁舎や各コミュニティセンターなどに回収ボックスを設置し、使用済小型家電の回収などを行い、市民の協力のもと、リサイクルの促進に努めているところである。中にはレアメタルなどの貴重な資源物も含まれており、これらがどのように再利用されているかをわかりやすく伝えるなど、工夫を凝らし、市民のごみの減量、分別への意識がより高まるよう啓発に努められたいこと。

第9点

道路の維持管理については、公共施設の整備にあわせた周辺歩道の整備等の工事のほか、日常的な点検や市民からの通報により、くぼみなど応急的な補修を行うとともに、現在、路面下の空洞の解消などにも取り組んでいるところである。

今後とも予算との兼ね合いも考慮しながら、道路の経年劣化などに効率的に対処していかなければならないため、財源確保や負担の平準化を図りつつ、引き続き計画的に道路の改修、整備に努められたいこと。

なお、市のホームページから道路等の不具合の通報を受け付けているところであるが、スマートフォンから容易に位置情報などを送信できる方途についても研究されたいこと。

第10点

自主防災訓練については、昨年、本市においても地震や台風による被害が発生した状況を鑑み、今一度、各種備蓄品やマンホールトイレなど、災害時に問題なく利用できるよう、引き続き自主防災組織をはじめ、消防や関係機関とも連携を図りながら、実践的な訓練となるよう取り組まれたいこと。

第11点

青少年関係団体への補助金については、事業費補助とするなど、見直しを図ってきたところであり、対象となる団体数を一定把握した上で予算計上されているものの、申請は半数程度に留まっている状況である。よって、申請手続など、改善すべき点がないか検討し、今後、当該補助金が有効に活用され、青少年の健全育成に関わる活動が活性化するよう、支援に当たられたいこと。

次に、国民健康保険事業会計について申し上げます。

昨今、高齢化等により一人当たりの医療費は増加しており、本事業としては、医療費の抑制を図る観点からも、先ほど一般会計においても指摘したところであるが、まずは健康寿命の延伸に向け、被保険者の疾病予防、健康の保持増進につながる施策の充実を図られたいこと。

なお、平成30年度から事業主体が大阪府に移行され、府内市町村の被保険者間の負担の公平化を目指す観点から、保険料率をはじめ、保険料の減免や給付に関する基準の統一化を図ったところ

である。今後とも広域化の意義を踏まえ、府と連携しつつ、安定的で持続可能な事業となるよう取り組まれないこと。

本委員会は、以上のごとく各種希望意見を付し、冒頭に申し上げましたとおりの結論を見出した次第であります。

理事者におかれましては、今後とも市の発展と行政内容の充実、ひいては市民サービスの維持向上に鋭意努力を傾注されますよう重ねて強く要望いたしまして、決算特別委員会の委員長報告いたします。